

地域との意見交換会（ワークショップ）結果（花園小校区）

開催日	平成 23 年 9 月 4 日（日）10 時～12 時
開催場所	西明石南町公民館
参加市民	37 名
テーマ	【議題 1】 協働の事例の抽出 【議題 2】 協働事例についての課題 【議題 3】 解決に向けての方向性

ーワークショップ中の皆さんの様子ですー



アイスブレイキングの様子



グループに分かれて意見を出し合いました



各グループから議論の内容が発表されました



◇各グループで考えた「協働の事例」と「課題」および「課題解決策」

協働の事例 (テーマ)	協働事例についての課題	課題解決策
<p>(Aグループ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 子どもの虐待 	<p>★コミュニケーション不足</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 地域の人たちは子どもと遊びたいが、親が知らない人と遊ばせたくない ◇ 虐待と思っている、相談する人がいない、行政にも伝えられないといった問題が 	<p>★自治会内での小さなグループでの関わりが必要</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ コミュニケーションが取れていると、同じ意見を持った人たちで相談することができ、解決していくことが可能 ◇ 虐待の前に子育ての事等を相談できるので、未然に防止できる
<p>(Bグループ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 敬老会の運営 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 実行委員会の役員不足（実行委員会のメンバーの中にお祝いを受け取る人が含まれている） ◇ お金がない ◇ お祝いを受けるはずの出席者が少ない ◇ 受付で記念品をもらったら帰る人がいる 	<p>★予算面の課題に対して</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 行政に検討してもらう ◇ 各自治会が一定金額の負担を検討する <p>★出席者の問題に対して</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 参加した人、参加しなかった人共にアンケートを行い、意見を聞いて新たなイベントを実施する
<p>(Cグループ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 子どもとのふれあい（オレンジキャップ、高年クラブの雑巾の寄付、幼稚園、花園学童とのふれあい） 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ オレンジキャップの件で学校との連絡が徹底できていない ◇ 高齢者になって協力者が揃わなくなっている 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 早めに学校スケジュールを把握する ◇ 自主的な参加を呼びかける
<p>(Dグループ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● クリーンアップ作戦（各自治会、企業、学校、PTA、子ども会、ボランティア） 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 分別ができていない ◇ 回収できない物が出される ◇ 指定日以外の日にごみを出す人がいる ◇ ポイ捨て（お菓子の袋、タバコの箱、吸い殻、空き缶、等） 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ ごみの減量説明会を市や自治会で行う ◇ ごみについての回覧を頻繁に回す ◇ 粗大ゴミ処理の仕方の冊子を再配布する

<p>(E グループ) ● クリーンアップ作戦</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇ ハサミ、ごみ袋が大きすぎる ◇ どういったゴミがあったか等の事後報告がない ◇ 参加する人が決まっている（PTA に関わっている人が中心） 	<ul style="list-style-type: none"> ★ごみ袋の問題について <ul style="list-style-type: none"> ◇ バケツやスーパーの袋を持参する ★事後報告の問題について <ul style="list-style-type: none"> ◇ クリーンアップ作戦でゴミ集めした結果報告を実施する ★参加者の問題について <ul style="list-style-type: none"> ◇ 行事の案内をわかりやすくする ◇ 実施することの意義を伝える ◇ 行政による地域の美観についての意識づけの案内 ◇ クリーンアップ作戦に商店街を巻き込む ◇ クリーンアップ作戦をする季節を選ぶ
<p>(F グループ) ● オレンジキャップ活動（自治会、高年クラブ、子ども会、PTA、学校、等）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇ パトロールする前に危険箇所や気を付けることの指導をして欲しい ◇ 活動が団体ごとにバラバラで横のつながりがない ◇ ボランティアに若い人の参加が必要 ◇ 連絡（情報）が不明確 ◇ ボランティア花園、高年クラブの新加入が少ない ◇ 一般の住民の参加が少ない（子どものいない方の不参加が目立つ） 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ コミュニケーションの場を積極的に設ける ◇ 子ども達の状況を親に伝える ◇ 楽しめる活動を盛り込む

◇ファシリテーターによる各グループ発表へのコメント

□A グループ

昔は、子どもも高齢者も地域の人みんなが見ていました。支えあい・助け合いと言わなくてもあたりまえでしたが、今は便利すぎて、助けてもらわなくても一人で暮らしていける時代になってしまいました。それがコミュニティの希薄化につながり、ゆがみ・弊害が出てきて、なんとかしないとイケない状況となっています。

昔はあたりまえであったことを今は作らないといけません。

ボランティア・NPO 法人・地域の人達が、昔のいい所を取り入れながら、新しい形の中でコミュニティを作っていく時代。地域で子どもを育てていく、あたりまえの事ができるようになったら良いなと思います。

□B グループ

他の市の敬老会は、どんな事をやっているか？他の市の企画を行政経由で、情報提供して貰えば、と思います。

□C グループ

子どもは少ないけれど、子どもの問題は多くなってきています。

他の地域のオレンジキャップはどうしているのか、他の地域との交流会はあるのか。交流がなければ、自分達の地域以外の所では、どうしているのか、聞くのも良いと思います。オレンジキャップ以外の子どものかかわっている活動を、一緒に考えて行ったらいいかもしれませんね。

□D グループ

なぜクリーンアップ作戦をするか、明確にすることで、みなさんに協力を仰いでいけば、と思います。

□E グループ

お祭りや、クリーンアップ作戦等たくさんの団体や人が関わる時は、責任者を決めて、きちんとした役割分担を明確にし、それぞれが、かかわらないといけない、という気持ちを作っていくことが、大事だと思います。

□F グループ

オレンジキャップは、みんなでかかわる課題です。

横のつながりが少ないということで、交流会とか話し合いの場が持てれば良いと思います。オレンジキャップの活動の中で、ワークショップを実施したら、集中的な課題がわかるかもしれませんね。

◇ファシリテーターによるまとめ



皆さんの普段の活動は、明石市の下でやっている事ではないですね。明石市の下部組織ではありません。

皆さんは、自治会という組織をしっかりと組織化されており、行政と対等に話をしたり、対等に行動する立場です。決して行政の下で、行政が言うから普段の活動を行う訳ではありません。これから、そういう事が、もっともっと、大事になってきます。

行政も今までは自治会にお願いすれば動いてくれるなど甘えもあったかも知れませんが、一緒に汗を流すパートナーと認識する必要があります。

これからは、対等にパートナーとして、お付き合いするという姿勢で、ぜひ皆さんのほうも声をあげて頂きたいし、行政もシステム制度を整えて頂きたいと思います。

これからは、どんどん皆さんの意見が行政に反映されて、行政と一緒に協働していくという形になればいいなということで、今回皆さんにいろいろな意見をお聞きしました。ありがとうございました。